

令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名		熊取町商工会
	代表者職・氏名		会長 辻 正義
	所在地		〒590-0451 大阪府泉南郡熊取町野田2-9-20
	担当者	職・氏名	事務局長 東 英彦
		連絡先	TEL（直通）：
Fax：			072-453-8183
		E-mail：	kumatori@silver.ocn.ne.jp
①設立年月日		昭和59年7月10日	
②職員数 （うち経営指導員数）		5名（経営指導員5名）（令和4年3月31日現在）	
③所管地域			
④管内事業所数		1239（平成28年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数		892（平成28年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）		681（令和4年3月31日現在）	
		※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること	
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>⑤展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑧行政庁等諮問に応じて、答申すること。</p> <p>⑨社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑩商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理すること。</p> <p>⑪商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑫行政庁から委託を受けて事業を行うこと。</p> <p>⑬外国人研修生の受入れに関する事業を行うこと。</p> <p>⑭前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事務を行うこと。</p>			

(1) 事業の目標

熊取町商工会は小規模事業者が抱える経営課題を把握解決するため指導員が窓口・巡回指導を行い事業所のカルテ、サービス提案や施策のPR、情報の発信を行い様々な面からの確に相談支援を総合的に実行して事業所の安定的持続発展に寄与する。また専門的な課題については各関係支援機関、専門家等と連携を図りその解決に向けたきめ細やかな支援を行い事業者が持つ課題の解決に導く。また地域活性化事業は創業支援、BCP策定、情報発信事業、キャッシュレス推進、くまとり産業フェアなど事業所の参加を促す事業を積極的に開催、大阪府連携、近隣の商工会、商工会議所と広域連携また熊取町と連携を図り事業を積極的に展開し、より多くの参加事業者のビジネスチャンス創出や販路拡大に繋げ、曳いては活力のある地域商工業の発展に寄与する事が重要な目標である。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営指導員による相談支援事業は、事業者の抱える経営課題や問題点等を把握するため窓口・巡回時において事業者とより多く接点を持つよう心掛け親切、丁寧に指導に取り組む事や指導員間ではカルテ等で情報を共有し事業所の課題を把握してニーズに沿った情報の提供や提案等を図り、経営課題の解決に指導員が一丸となり迅速かつ的確な支援を行う事に努めた。そして専門的・高度な課題の解決は関係機関や専門家との連携を保ちながら諸問題を解決すべく専門相談事業に導く様に心掛けた。そして税務支援は年末調整・確定申告時期を重点に消費税の軽減税率への対応など、より高度で複雑な問題の解決のため相談窓口を実施した。昨年度より金融支援を計画し新型コロナ等で資金繰りに苦慮する事業者の金融相談会を経て資金調達に導く事が出来た。地域活性化事業は、府・各市町・各商工会と連携して、新型コロナ対策を講じながら、DMや熊取町と連携した広報等を通じて、事業のPRを実施した。また各事業に沿うように事業所の個別訪問を行い地域活性化事業への参加を促す事ができた。創業セミナー事業は、大阪産業局と連携し講師を派遣して頂き、これから起業する方が参加し易くするために参加無料で開催した。情報発信事業は熊取町図書館と連携を図り事業所の展示物やそれに関連した書籍を展示する事で訪れる来館者にPRする事ができた。BCP・BCM普及啓発セミナーは大阪府が推奨している「超簡易版BCP『これだけは』シート」の活用方法などの紹介や策定フローチャートを実施する事で危機管理の意識を高める事ができた。キャッシュレス化推進セミナーでは大阪府よろず支援拠点と連携してキャッシュレスからインボイス迄の幅広い内容のセミナーを開催する事ができた。くまとり産業フェアは規模を縮小し新型コロナ対策を万全に講じ盛大に開催する事ができた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

昨年来から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、商工会における令和3年度の事業計画等も様々な方法や感染防止対策をしての実施となった。地域活性化事業で開催中止になる事業もあったが、セミナー等は広い会場を利用するなど新型コロナ感染対策を万全にし開催するなど創意工夫を凝らして行った。相談支援事業も新型コロナ影響で相談件数は増加し、改めて商工会は地元の中小零細企業の良きパートナーであり身近な相談窓口である事を再認識させられた。そしてコロナ禍での相談支援事業は、事業所を訪問することで様々な課題が浮き彫りとなった。その課題解決に向けて情報提供や提案等を行い、事業所のニーズを迅速にかつ的確に把握する事で、問題への対応策等を速やかに対処でき、経営課題の解決に向け効果的な支援ができた。地域活性化事業では、創業セミナーは今年度も大阪産業局から講師を派遣して頂き充実したセミナーとなり、年度中に自宅の空きスペースを利用しての開業を積極的に考えておられた方をアシストする事ができた。キャッシュレス化推進セミナーは、府施策連携事業でもあり講師を大阪府よろず支援拠点から派遣して頂き開催できた。キャッシュレスだけにとどまらずインボイスを関連させてのセミナーとし、今後も引き続き力を入れ推進を図る。情報発信事業では、熊取町図書館と連携を図り、事業所のPRとその事業所の内容に関連した書物の展示により、一層事業所の取組みに興味を持って頂く事ができた。BCP・BCM促進セミナーは、新型コロナの影響でウイルス感染対策も盛込んだ内容となり、大阪府が推奨する「超簡易版BCP『これだけは！』シート」の活用方法と作成の仕方を学んで頂く機会となり、成果のあるセミナーとなった。くまとり産業フェアは新型コロナ感染者が減少している時期に感染対策を万全を期して、規模を縮小しつつも盛大に開催する事ができた。専門相談支援事業は税務相談を実施して年末調整、確定申告相談、そして今年度から引き続き軽減税率への専門的な対応と税の正しい認識と申告納税へと導く事ができた。昨年度から専門相談支援事業として金融相談事業を開催しており、毎月一回日本政策金融公庫担当者に来て頂き、事業所にとってより良い相談機会となり一層事業資金が利用し易いものとなっている。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

令和3年度は、熊取町商工会としても新型コロナ禍での相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業等の商工会を活用した事業所については、効果や実績満足率などで一定の高評価を残すことができた。現在も事業所に寄添った伴走的な支援を続けているが、まだまだ商工会を活用されていない事業所やイベントやセミナーなどに参加できていない事業所も多い。そのため、地域の商工業者の方により一層活用して頂くべく、より良い情報の提供や提案等を積極的に行い浸透を図る。また後継者問題や創業支援にも積極的に取り組む。地域経済全体に活力が行き渡るよう、様々な事業、施策を展開し、多くの事業所に活用して頂き活性化へと導くためには、今後も商工会の果たす役割は大きいと考える。

(5) 次年度の取り組み

一昨年度末より、世界を震撼させている新型コロナウイルス問題は、地域中小零細企業とっても大きな問題となっている。そのような状況下で熊取町商工会としては、来年度もより一層、経営相談支援・専門相談支援、地域活性化事業の浸透を図り、多くの企業に活用して頂けるよう各種情報の提供や提案、掘起しなどを積極的に行う。そして事業所に寄添いながら企業の抱える経営課題や問題点を把握し、事業所に問題提起するとともに効果的な解決策を講じる。このように事業所と共に取り組むことで地域の活力を向上させていく。また熊取町と連携を図り地域ブランドくまとりやもん事業や情報発信事業などを実施し、地域の賑わいづくりを推進していく。昨年引き続き創業、BCP支援、更に事業承継などを主体として実施して熊取町の活性化に貢献していく。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 熊取町商工会

I 経営相談支援事業					
支援のポイント・成果					
<p>熊取町商工会では地域商工業者の経営課題を明確にする為に従前から経営指導員間の情報共有を図り窓口相談、巡回相談の積極的な推進を心掛けてきた。その結果、事業所が抱える経営問題を把握しその問題解決のに向けた手法を提案する事ができ、一年を通して事業所が抱える諸問題の解決に向けた方策等を適切に支援している。しかし、地域内の事業所を取り巻く環境は非常に厳しく、様々な支援が求められる状況が続いている。また大阪産業局や各種関係機関や専門家等との連携により高度な案件の対応も行っている。その結果の一つとして29年度から始めた熊取町のマルケイ融資の利子補給制度、更に令和2年度から日本政策金融公庫との連携による金融相談会により、事業資金を利用して経営を改善できた事業所も増加した。各関係機関と商工会が連携を密にする事で地域の発展に貢献できた。また、ワンストップ的な機能を果たすことにより経営の改善等に役立てて頂くこともできた。今後も事業所と商工会が連携を密にして、商工会への信頼性・信用性の強化を図り、各種支援やサービス向上に努め、地域商工業の振興、発展に繋げていきたい。</p> <p>(代表事例)</p> <p>キッチンカーを利用して挽きたて珈琲の移動販売を行っている。新型コロナウイルス感染症がまん延する中で当初は感染対策等に対する支援を行っていたが緊急事態宣言やまん延防止重点措置が長期間続いており、イベント等の中止が続き出店場所の確保が困難になってきた。このままの状態が続けば事業の継続が難しくなることから思い切った業種の転換が必要だと考え、事業計画作成支援を行った結果、海上コンテナを改装し独自の店舗の取得と珈琲に合う新メニューの開発を行うため事業再構築補助金の申請を行うこととなった。また、資金繰り面についてもマル経融資の活用と返済余力を生み出すためのコスト削減についての支援を行い、事業再構築補助金の採択につながった。</p>					
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	200	222	111.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	3	0	0.0%	3
金融支援（紹介型）	支援数	3	1	33.3%	3
金融支援（経営指導型）	支援数	20	14	70.0%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	3
資金繰り計画作成支援	事業所	10	30	300.0%	5
記帳支援	事業所	50	17	34.0%	3
労務支援	支援数	25	56	224.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	3
マーケティング力向上支援	事業所	1	0	0.0%	3
販路開拓支援	支援数	50	77	154.0%	5
事業計画作成支援	支援数	6	5	83.3%	4
創業支援	事業所	1	1	100.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	15	16	106.7%	5
コスト削減計画作成支援	事業所	50	59	118.0%	5
財務分析支援	事業所	5	0	0.0%	3
5S支援	事業所	30	23	76.7%	4
IT化支援	事業所	1	0	0.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	3
事業承継支援	事業所	3	0	0.0%	3
災害時対応支援	事業所	96	44	45.8%	3
フォローアップ支援	事業所	50	0	0.0%	3
結果報告	事業所	200	222	111.0%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

熊取町商工会では年間を通じて税務相談を随時実施した。また確定申告期間を通じて相談会を実施して事業者の持つ複雑な問題を図るべく専門家を招き的確に解決に導く事が出来た。また相談の際に専門家を通じて税制に対する理解を深めて頂くこともできた。また金融相談は、昨年度に引続き日本政策金融公庫と連携して毎月1度の相談会を実施し、成果を上げることができた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	20	20	100.0%	5
金融相談	継続	相談件数	12	12	100.0%	5

熊取町商工会

事業名		創業セミナー							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	開業率が廃業率を下回っている現状が続いており、企業数は減少し続けている。地域を担う新たな起業家の出現が地域活性化に繋がると考える。創業にあたり、必要な手続きに関する基礎的な知識が不足している方も見受けられる。ついては、スムーズな創業を可能にするため、必要とされる手続きや知識・企業に向けた心構えを身につけていただき具体的なビジネスプランの作成を支援し、事業化を実現させることで、管内の産業活性化を図る。また創業後5年程度の方や不安のある方にも参加頂き、自社の経営を見直す機会としてもらう。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	熊取町内外で創業を希望される方・創業後5年以内の方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>★創業セミナー</p> <p>【時 期】6月～7月にかけて テーマ毎に分けて4回実施</p> <p>第1回 6月26日 テーマ：経営 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>第2回 7月3日 テーマ：販路開拓 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>第3回 7月10日 テーマ：財務 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>第4回 7月17日 テーマ：人材育成 講師：大阪府よろず支援拠点 コーディネーター</p> <p>【場 所】熊取町商工会館 3階 研修室</p> <p>【参加費】無料</p> <p>※創業の心得・開業に伴う手続き・税務関係・公的融資制度の紹介・創業計画書作成のポイント等の内容で実施</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
		③市町村連携	広報誌や掲示板を利用した広報の協力						
	④相談相乗	セミナー受講者に対して、創業支援などを実施。また、カルテ化までには至っていない参加者に対しても個々の状況にあった指導も行う。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	当初、15社の参加を見込んでいたが11社の参加となった。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中での実施でもあり、計画していた企業数には達しなかった。セミナーに参加した方々の満足度については、アンケートにもあるように創業に向けた取組について概ね理解をいただきました。創業するにあたり、セミナー参加者の中には、熊取町で実施している創業支援補助金の説明や特定創業の融資枠拡充の相談や実施、(株)日本政策金融公庫にて開業資金の申込みの支援なども行うこととなった。また、セミナー受講後、2名の起業がなされることとなった。福祉障害施設事業・不動産賃貸業を2事業所が起業。							
		代表指標	創業に繋がった事業所						
		数値目標	10.0%	実績数値	18.2%	目標達成度	182.0%		
	成果の代表事例	創業セミナーを受講した方が、特定創業支援の認定を受け、法人登録免許税の減免制度を活用し、障がい者専用グループホームの起業の方や不動産賃貸業を起業した方などの成果あり。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	アンケート内容から創業セミナーを開催することにより、以前から独立開業を考えていた方や起業して間も無い事業者に対して知識を得ていただけたと感じております。また、テーマ別を実施することにより理解を深めていただけたと実感する。また、講師を大阪府よろず支援拠点コーディネーターの中小企業診断士の資格を有した方々をお願いした結果、受講者の反応も良く、講習会終了後も個別の相談を受け付けるなど参加者にとっては、相談事がワンストップで解決し大変喜ばれた。来年度も一人でも多くの方が創業出来るよう商工会がパイプ役になり個々にあった支援を実施出来るようにしていきたい。							

熊取町商工会

事業名		情報発信事業							
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	熊取図書館施設内、商工会展示ブースにおいて、熊取町内の商工業の製品・商品や企業PR・旬の企業情報等を発信する場を提供することにより、町内外の方々に幅広くアピールし、町内商工業の認知度を高めることにより、町内企業との商談・購買等へと促すことにより企業のアピールの一助として活用、情報発信をしていき、ひいては町内商工業の振興・活性化を促していく。また、企業PRの内容に合わせて図書館の本を隣接して展示する事により、企業商品や事業内容などより親しみやすい企業PRが実施出来る取組にも力を入れている。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内全事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	熊取図書館内に設置された、商工会展示ブース1枠を1企業1か月単位で展示し、企業の製品・商品等をアピールし商工業の販路開拓の一助とし活用を促していく。また、展示内容と本を使った相乗効果を図るディスプレイを実施し、図書館だから出来る情報発信を提案していく。 募集については、DMや指導員が巡回時に紹介等を行い新たな広報の手法の一つとして活用を促す。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	町と商工会が連携を図りPR等の啓発を促しより多くの方々に来館頂く。また出展企業においては、展示素材の選定やディスプレイ・顧客等の対応等販路開拓についての支援を行う。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	12.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	116.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	各々の企業が製品・商品やサービス等をPR、情報発信することにより、多くの方々の目に留まり新たな顧客の獲得や売上の向上や企業のプレゼンテーションを考える機会を与えることにより、意識の変化や事業活動に活力を与えることができた。							
		代表指標	自店・商品等のアピール効果があった事業所数						
	数値目標	8社	実績数値	14社	目標達成度	175.0%			
	成果の代表事例	企業PRをきっかけに定期的に図書館前にてコーヒー等の販売の依頼があり、キッチンカーにて販売の機会を得た。コロナ禍の中で、イベントが軒並み中止になる中で、販売の機会が得られたことがきっかけとなり、自宅前での定期的な販売実施時にも来店に足を運んでもらえた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、臨時休館や外出自粛等で来館者数にバラつきがあり、企業PRでも実施時期により効果的な面に差は感じられた。ただ、PRに意欲的な企業も多くありピンチをチャンスと捉え、展示の機会が持てたことが良かったとコメントをいただく。また、図書館と事業所のタイアップしたまちゼミ企画も順調に進んでおり、コロナ禍での企画であり、感染状況を見ながら開催に取組んでいきたい。							

熊取町商工会

事業名

BCP・BCM促進セミナー

想定する実施期間

R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の概要

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

中小零細企業においては、日常業務に追われ災害等によるリスクが発生した場合の対応力等を認識していないのが現状である（中小企業のBCP策定率は約2割に届いていない）。南海トラフ巨大地震などの発生時においても資産や人材等の被害を最小限度に留め、事業が中断しても早期に事業再開や復旧が可能になるよう、日頃より緊急時の対応を準備する事で、緊急時に製品などの提供が出来る企業として新たな顧客の獲得、企業の競争力アップに繋げる為に、基礎を学び事業継続の可能性を最大限に見出すこと。また行政と一体となり事業継続力強化支援計画の認定申請を行いその中においても5年計画で目標数値を掲げBCPの普及推進を目的とする。

支援する対象
(業種・事業所数等)

熊取町管内の事業所

実施時期・具体的な内容及び事業手法

BCP・BCMの普及、啓発セミナーを行う。実施時期、講師の選定等については熊取町商工会が大阪府担当課と連携し日程調整を行う。大阪府商工会連合会の事業継続計画（BCP）策定支援事業と連携して、事業所へ「BCP策定ガイドライン」や国の「レジリエンス認証制度」の紹介に努め、その必要性、基礎知識を習得、BCP・BCMに対する意識向上を図る。

★BCP策定支援普及セミナー

【時期】10月8日（金）午後2時～午後4時

【講師】大阪府よろず支援拠点 チーフコーディネーター

【場所】熊取交流センター コットンホール

【参加費】無料

<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携 府連携をする事でセミナーの的確な開催方法、講師依頼方法などセミナーの的確な開催方法を指導して頂き参加者にBCP・BCMに対する認識を高めるセミナー開催となった。

②広域連携

③市町村連携

熊取町広報誌及び商工会のDM、Web媒体等を活用し参加事業所を募る。

④相談相乗

計画に対する実績（数値）

総支援企業数(計画)	17.0	総支援企業数(実績)	12.5	支援実績率	73.5%	満足率	100.0%
------------	------	------------	------	-------	-------	-----	--------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

セミナーでは、BCP(事業継続計画)の基礎的な内容を重点的に実施。大阪府が推奨する自然災害対策版・コロナ版『超簡易版BCPこれだけは！シート』の活用方法などを紹介。また、事業継続計画を作成する為の策定フローチャートを用いて実施。受講された方は、熱心に策定に取り組んで頂きました。今回、BCPを策定したことにより、自然災害及びウイルス災害に対して現実的に捉える事ができ、危機管理を高める事が出来た。

代表指標

事業継続計画書が作成できた企業

数値目標

17社

実績数値

12社

目標達成度

70.6%

成果の代表事例

セミナー受講された事業所は、事業を存続させる為にはBCPは必要不可欠であり、災害がいつどこで発生しても問題がないよう、BCPの策定とBCMの構築が重要であることを認識してもらい理解も深める事が出来た。

その他目標値の実績

目標値(計画)

目標値(実績)

目標達成度

実施結果

課題及び次期以降への取組み
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

今回、セミナーをした事により、セミナー参加企業のBCP策定の一助となった。ただ、未だに中小企業ではBCPの認知度は低く、今後もBCPの必要性について、セミナー開催だけではなく、窓口・巡回相談時など説明をする機会を増やしていく。

熊取町商工会

事業名		キャッシュレス化 推進セミナー							
想定する実施期間		H31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現金の決済をカードや電子マネーなど電子決済に変えていくキャッシュレス化に関心が集まり、政府も推進の旗を振っている。政府がキャッシュレス化を推進する一つの理由は、インバウンド消費の促進である。ところが町内の小さな飲食店や小売店では、クレジットカードが使えないところが多く、潜在的な外国人の消費需要を取りこぼしているという問題がある。このようなことからセミナーを通じてキャッシュレス化の認識を高めてもらう。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	町内外の小売店及び飲食店等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	★キャッシュレス化推進セミナー 【時期】令和3年10月29日(金) 14:00～15:30 【場所】熊取交流センター煉瓦館 コットンホール 【参加費】無料 【講師】大阪よろず支援拠点コーディネーター 【テーマ】インボイス制度とキャッシュレス							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	府連携をする事でセミナーの的確な開催方法、講師依頼方法などセミナーの的確な開催方法を指導して頂き参加者にとって満足のいくセミナー開催となった。						
		③市町村連携	熊取町と連携をする事で事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRが出来た。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15社	総支援企業数(実績)	14社	支援実績率	93.3%	満足率	92.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	今回のセミナー参加者はキャッシュレスの導入はもとより牽いてはキャッシュレスを活かした令和5年10月から始まるインボイス制度に絡めたセミナーとなった。参加の方や現在お店でキャッシュレス決済を何社とも提携を結んでいる事業所など多種多様でありました。セミナーの内容としてはキャッシュレス導入する事により経理処理と連動させたインボイス制度への対応など受講事業者の理解度と導入の意欲が高揚した。セミナー終了後も講師に直接導入に向けての質問など積極的な事業所もありキャッシュレス化を推進する事が出来た。							
		代表指標	キャッシュレス化についての理解度						
		数値目標	70%	実績数値	81.4%	目標達成度	116.2%		
	成果の代表事例	このセミナーでキャッシュレス化とネット会計とインボイスが連動する事で2023年から始まるインボイスへの会計処理がスムーズにできる事がわかった。複雑な軽減税率の会計に対応出来る様な知識を習得できた。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	国が2025年までにキャッシュレス比率を40%と目標を掲げた事で小規模事業者にとって今後事業を継続していく上では必要不可欠なものとなる事が予想される。そのような状況下で令和元年度はキャッシュレスの入門、令和2年度はJPQRの導入についてのセミナーを開催、令和3年度はキャッシュレスとインボイス制度を絡めたセミナーを開催。この3回のセミナーを開催した事により地域内事業所でのキャッシュレス化への普及啓発ができた。							

熊取町商工会

事業名

くまとり産業フェア

想定する実施期間

H25 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

厳しい環境下にある町内商工業を支援し、そして活性化を図るには、企業等による販売促進活動の支援、新たなビジネスチャンスの創出が必要である。本産業フェアを行うことにより、自社単独ではできない環境下での潜在的な顧客の開拓、地元商工業の優れた製品・商品等を消費者へ力強くアピールするため、展示・即売・商談・販路開拓等の事業機会を提供し、事業所と消費者との交流を深め消費者ニーズの把握や企業間の情報交換・交流等を行う事で自社の強みや弱みに気づく機会となる。また、本産業フェアを実施に当たり熊取町と連携を図り町農業祭を共同開催する。共同開催することにより農業及び商工業の異業種間交流を深めることにより事業所の意識の高揚をはかり、新たな産業交流が生まれ連携による新規事業の創出を見出すことができる。地元産業の認知度向上、販路拡大等の機会を提供し地域産業の振興、活性化を促すことを目的とする。

支援する対象
(業種・事業所数等)

泉南市・阪南市・岬町・忠岡町・熊取町商工会内の事業所

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

くまとり産業フェア(単独開催)
※熊取ふれあい農業祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
会議 6/23・8/25・9/29・11/1・11/25
広報 新聞折込11,000部・関係各所へ配布・町広報誌掲載・ホームページへ掲載
開催日 令和3年12月5日(日)
開催場所 熊取町立中央小学校グラウンド
来場者数 約2,800人
出店事業所数 33店舗

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

- ①府施策連携 大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を図り、各技能士会によるものづくり教室を開催。
- ②広域連携 泉南・阪南・岬・忠岡・熊取が連携し、出展者や来場者に対し広域でPRを実施。
- ③市町村連携 事業の開催を町広報に掲載し幅広くPRを実施。町と連携する事で職員の動員などの協力も得る事が出来た。
- ④相談相乗

計画に対する実績(数値)

総支援企業数(計画)	40社	総支援企業数(実績)	33社	支援実績率	82.5%	満足率	81.8
------------	-----	------------	-----	-------	-------	-----	------

目標の達成度
(支援企業をどう変化させることができたか)

令和3年12月5日に熊取町立中央小学校で開催。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して開催したため、例年に比べると来場者が延べ2,800人(アンケートより)へ減少した。参加企業は33社(熊取22社、忠岡3社、泉南3社、阪南3社、岬2社)となり地域内の特産品・展示即売など、出店にもディスプレイ等創意工夫がみられ、多くの方にアピールすることができた。また、大阪府人材育成課、大阪府技能士会連合会と連携を計る事ができ、より一層の盛り上がりを見せ、参加事業所にも好評であった。

代表指標 自店・商品等のアピール・認知度の向上が図れた事業所数

数値目標	28社	実績数値	20社	目標達成度	71.4%
------	-----	------	-----	-------	-------

成果の代表事例

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、熊取ふれあい農業祭が中止になり、規模を縮小して開催したため、例年に比べると来場者が減少した。

その他目標値の実績

目標値(計画)	4,000人	目標値(実績)	2,847人	目標達成度	71.2%
---------	--------	---------	--------	-------	-------

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、熊取ふれあい農業祭が中止になり、規模を縮小して開催したため、例年に比べると来場者が減少した。

実施結果

課題及び次期以降への取組み
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

町内屈指の恒例大型イベントとして地域住民には定着しているため、近隣の市町村で開催されているイベントの開催規模を参考に新型コロナウイルス感染症拡大防止策とのバランスを考慮した上で、最大限に集客力向上に繋がる取組を検討し、令和4年度は令和3年度のイメージを払拭できるように盛大に開催したい。